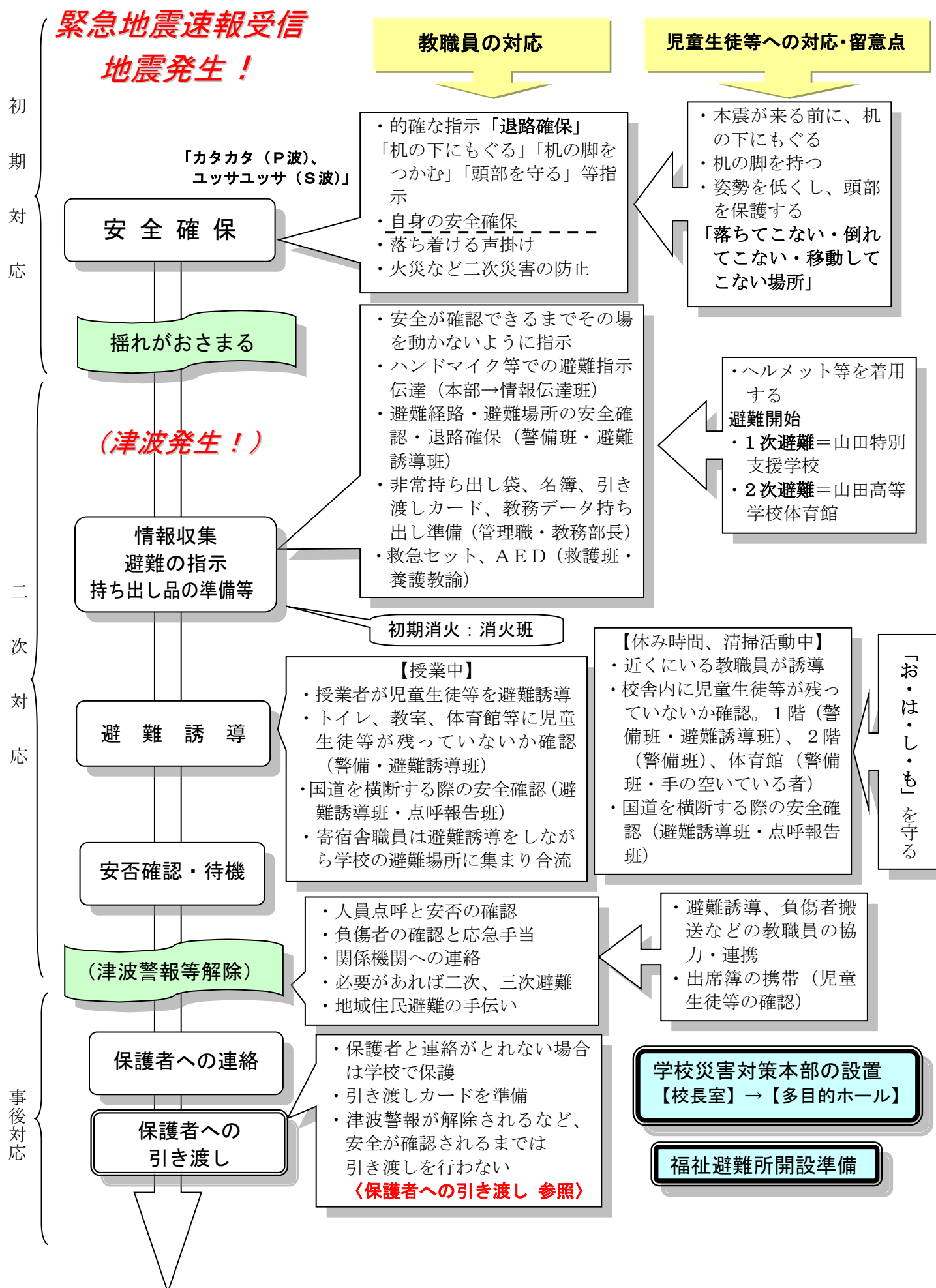


Ⅱ 発生時の危機管理（命を守る）

1 地震発生時の対応

（１）児童生徒等在校中の対応



【場所別の指示と児童生徒等の行動】

場 所		教職員の指示（例）	児童生徒等の行動
普通教室		「机の下にもぐる」「机の脚をつかむ」 「頭部を守る」「その場を動かない」	・机の下にもぐり動かないように脚を持つ等、頭部を保護し身の安全を守る ・部屋の中央に集まり、姿勢を低くして頭部及び上半身を保護する
特 別 教 室	理 科 室	「窓やガラスから離れる」 「薬品から離れる」 「棚から離れる」	・アルコールランプ等の火を消す ・机の下にもぐる等、身の安全を守る ・薬品・実験用品が入っている棚から離れる
	調 理 室	「火の側から離れる」 ＊火・湯・薬品等の危険な物のそばから離れる	・食器等が入っている棚から離れる
	音 楽 室	「ピアノから離れる」	・ピアノなど大きな楽器や機器などから離れる
	コンピューター室	「机の下にもぐる」「机の脚をつかむ」	・ディスプレイ等の落下、飛び出しに注意する
	学 校 図 書 館 等	「本棚から離れる」 ◎教室の状況に応じて具体的に指示をする	・本棚から離れる
体 育 館		「体育器具や窓ガラスから離れて中央に集まる、照明に気をつける」	・天板や天井灯、窓からの落下物、体育器具の転倒などに注意し、安全な場所に集まる
運動場・校庭		「校舎、フェンスや遊具などから離れて、体を低くする、グラウンドの中央に集まる」	・窓ガラスの飛散や外壁の倒壊、フェンス等の転倒に注意する。 ・落下物、倒壊の危険のあるものから離れ、中央部分に避難する
プ ー ル		「プールの端に移動し、ふちをつかむ」	・プールの端に移動し、プールのふちをつかむ ・揺れがおさまったら、速やかにプールから出て、安全な場所に避難する
廊下・階段		「しゃがんで、頭部を守る」 「教室に入る」	・壁、窓から離れ、蛍光灯やガラス等、落下物から身を守る。 ・近くの教室に入り、机の下にもぐる

教職員の対応における留意事項

- ・的確な指示
- ・周囲、校舎の安全確認
- ・児童生徒等の人員確認
- ・声かけ等による児童生徒等の不安の除去
- ・余震や二次災害への対応、動線の確保

教職員と児童生徒等が離れている場合の対応

（休み時間、放課後、部活動等）

- ・分散して、校舎内を巡回し、児童生徒等の安全を確認する
- ・本部の避難指示を受け、必要に応じて、児童生徒等より安全な場所へ誘導する
- ・負傷者がいる場合は、応急手当をする

テレビ、棚、書架、薬品庫等の転倒・落下防止、ガラスの飛散防止等、室内の安全対策について、可能な限り具体的な予防対策を講じておく。

→ 「地震対策チェックリストの例」参照